

2009年事業報告

1. 会員の状況

①正会員：102名	②協賛会員：9名	③団体会員：12団体
新入会員：7名	新入会員：なし	新入団体：1団体
退会者：4名	退会者：1名	退会団体：1団体

2. 事業の概略

特定非営利活動法人未来は、「地域と子どもの未来を創造^{つくる}」を基本理念として次に挙げる事業を実施した。

- (1) 未来ウオーク
- (2) 心のふれあいプロジェクト
- (3) シビックセンターたからや指定管理
- (4) 福祉サービス評価
- (5) 文芸
- (6) サッカークラブの運営（ウンビーゴ）
- (7) 「遥かなまち倉吉」映画化
- (8) 市民活動団体支援センター（CAPSくらよし）
- (9) 中部地域資源情報収集・活用・発信（12万活性化チーム）
- (10) 子育て応援隊
- (11) 子育て王国
- (12) 地域マネージャー（家守）
- (13) 県民向け情報誌発行（クムクム）

3. 事業の実施に関する事項

別紙参照

会議に関する事項

【定例会】 内容は下記のとおり。

月日	内 容	場 所	人数	備考
2月	創立5周年記念総会 今後のNPOと地域の活性化	新日本海新聞社 中部本社ホール	46名	鳥取県知事 平井伸治氏
4月	公園のさくらの今	飛龍閣	22名	倉吉市緑を守り育てる 審議会会長 森本満喜夫氏
6月	鳥取大学の地域貢献事業と赤 ちゃん登校日について	倉吉シティホテル	31名	鳥取大学医学部教授 河合康明氏 鳥取大学医学部准教授 高塚人志氏
8月	「鳥取力創造運動」	倉吉シティホテル	42名	鳥取県企画部長 林 昭男氏
11月	「地域再生のつば」	まきた旅館	40名	中国経済産業部 流通・サービス産業課 河裾淳子氏
12月	忘年会	はわい温泉羽衣	46名	

【理事会】 毎月第3水曜日に実施

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	未来ウオーク
2. 活動成果	①全国に認知され東京から旅行会社のツアー参加があった。 ②日韓親善協会との連携（記念講演、赤瓦交流会）ができた ③5kmコースにクイズラリーを入れ親子の参加拡大を図った。 ④鳥取県から50万円、とっとり中部ふるさと広域連合から80万円の補助金を得られた。 ⑤第9回大会の日程について全国の他大会と調整依頼があった。
3. 課題	①参加者拡大に努める 旅行会社への販売促進等広報の充実 ②地域住民、諸団体、行政との連携に努める ③財政基盤の安定
4. 事業（活動）の内容	随時実行委員会、その他各部会、部会長会議 3月21日ほくえい健康ウオーク 5月24日未来ウオークボランティア説明会 6月6日・7日 第9回日本海未来ウオーク開催 （6月5日フォーラム「ウオーキング立県とっとり」を目指して） （延べ2,800人参加） （韓国から7名参加） 6月27日 未来ウオークボランティア反省会 10月17日遥かなまちウオーク （参加者約200人、内倉吉幼稚園約108名） 10月23日～27日 第15回韓国国際ウオーキング大会 （17名参加） 11月8日鳥取砂丘ウオーク 11月15日妖怪ウオーク 11月22日ノルディックウオーク

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	心のふれあいプロジェクト
2. 活動成果	赤ちゃんを抱っこする体験は、子育ての大変さや家族の有難さを実感することができる。 赤ちゃんを介して保護者とのコミュニケーションをとることによって自ら考えながらかわりを持とうとする経験ができた。 フォーラムでは、大人が勉強できる大切な時間を作れた。
3. 課題	赤ちゃん登校日を開催していただく学校が少ない。 指導者養成講座参加者不足。 実行委員・研修スタッフ不足。 赤ちゃん登校日に参加していただく保護者及び赤ちゃんの確保も問題。
4. 事業（活動）の内容	指導者養成講座1 （赤ちゃん登校日の理解とコミュニケーションを学ぶ） 5月 8日 倉吉市立東中学校特活室（4人） 8月19日 南部町いこい荘（57人） 9月 9日 シェックセンターたからや会議室（2人） 指導者養成講座2 （赤ちゃん登校日の事前学習） 5月18日 倉吉市立東中学校3年生4クラス1回目 9月14日 倉吉市立東中学校3年生4クラス2回目 10月19日 南部町立西伯小学校5年1組 （赤ちゃん登校日実地研修） 5月24日 倉吉市立東中学校3年1組 5月25日 倉吉市立東中学校3年2組 6月 1日 倉吉市立東中学校3年3組 7月 1日 倉吉市立東中学校3年4組 9月18日 倉吉市立東中学校3年1組 9月30日 倉吉市立東中学校3年2組 11月16日 南部町立西伯小学校5年1組 指導者養成講座3 （赤ちゃん登校日実践の為にスタッフ研修） 12月 5日 フォーラム（基調講演・実践発表・シンポジウム）

2009年事業（活動）報告書

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	シビックセンターたからや指定管理												
2. 活動成果	活性化委員会を通して、利用者とのコミュニケーションがはかれた。 夏まつりに【たから屋夜市】として参加し、シビックセンターたからやを認知できた。 共益費の追徴金により、収支が安定した。												
3. 課題	利用面積の増大と活性化の検討												
4. 事業（活動）の内容	シビックセンターたからやの管理 運営委員会の開催（毎月曜日） 活性化委員会の開催（毎月第3月曜日） 護美梨デーの実施（毎月15日） 夏まつりの参加:たから屋夜市 7/25・8/1:おばけ屋敷 8/1:屋台等 利用状況の推移 退去：4団体 入居：8団体 <table><tr><td></td><td>利用面積(㎡)</td><td>利用団体数</td><td>文化教室数</td></tr><tr><td>2009年01月</td><td>852</td><td>31</td><td>6</td></tr><tr><td>2009年12月</td><td>970</td><td>35</td><td>6</td></tr></table>		利用面積(㎡)	利用団体数	文化教室数	2009年01月	852	31	6	2009年12月	970	35	6
	利用面積(㎡)	利用団体数	文化教室数										
2009年01月	852	31	6										
2009年12月	970	35	6										

1. 事業部名	福祉サービス評価事業部
2. 活動成果	①外部評価においては、前年度実施した事業所が改善に向けた取組みをするなど評価の成果を見ることができた。 ②外部評価において新規の契約事業所はなし。 ③今度は変えて見たいという事業所（契約せず）が1箇所あった。 ④情報の公表の申し込みは、新規4、継続32、追加サービスによる新規8であった。合計44事業の調査を実施した。 ⑤登録している訪問調査員ができるだけ調査に出られるように日程調整を行った。 ⑥事業所向けに「外部評価の4年間の取り組み」として、講演及び研修を実施した。5事業所の参加と評価員7名の参加を得、また、他の事業所の参考資料を取り寄せるなど、有意義な交流の場となり、調査員の意識を高めることが出来た。 ⑦保育所の第三者評価を2件実施した。いずれも倉吉市の保育園であり、今後も継続的に実施する方針がある。湯梨浜町は今年契約できず。担当者が代わり、返事待ちとして、そのままになってしまった。今後も引き続き進めていく必要がある。 ⑧事業部内で、研修認定機関としての届出をし、養成研修を実施した。出席者8名あり、現在実習中。
3. 課題	①事業所に対する呼びかけを5月頃より行ったが、実際には6月になる。 ②事業所などの整理は進んだが、会議録の整理が必要である。 ③外部評価に対する結果報告のまとめ方法（総括）を整備する。
4. 事業（活動）の内容	【地域密着型サービス評価】・・・8事業所 訪問調査員登録数：10名 《実施事業所》 ①認知症対応型共同生活介護（1ユニット）・・・1事業所 ②認知症対応型共同生活介護（2ユニット）・・・5事業所 ③小規模多機能型共同生活介護（登録25人以内）・・・2事業所 【第三者評価】・・・2事業所 訪問調査員登録数：18名 《評価実績》 保育所・・・2事業所（社・健手） 【介護サービス情報の公表】・・・44事業所 調査員登録数：36名 《調査実績》 ①訪問介護・・・6事業所 ②通所リハビリ：4事業所 ③訪問リハビリ・・・1事業所 ④通所介護・・・9事業所 ⑤居宅介護支援・・・8事業所 ⑥福祉用具貸与・・・3事業所 ⑦介護老人福祉施設・・・なし ⑧介護老人保健施設・・・1事業所 ⑨特定有料介護施設・・・なし 【その他】審査会20回（訪問前後1回ずつ）開催し、共通理解と学習の場とした。 評価調査者養成研修を実施し、9名の参加があった。年内に6名が修了予定。

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	文芸事業部
2. 活動成果	「第3回とっとりどまんなかフェスタ」の開催
3. 課題	イベント独自の収益で運営できるまでに至っていない。 今後は営業的に損益の出ない開催を目指したい。
4. 事業（活動）の内容	湯梨浜町中央公民館で「第3回どまんなかフェスタ」を開催。

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	ウンビーゴフットボールクラブ事業部			
2. 活動成果	- 倉吉高等技術専門校体育館を使用出来るようになり、フットサルの競技力向上が向上し、県大会優勝につながった。 - 鳥取短大付属幼稚園にて講師をさせて頂き、未就学幼児の入部が増え始めた。			
3. 課題	勝利至上主義でなく、選手の将来に繋がる育成を主たる目的としている事を、広く知ってもらい、広報活動が必要である。			
4. 事業（活動）の内容	月	カテゴリー	活動内容	備考
4. 事業（活動）の内容	4	全体	ウンビーゴFC大会	
		全体	ファミリーフットサル大会参加	
		全体	「名古屋オーシャンズ 荒山徹一選手を囲む会」開催	
	5	JY	サッカー祭出場	Aチーム予選リーグ1位、1位トーナメント優勝
				Bチーム Bチームリーグ1位
		事務局	広報誌発行	
		ジュニア	全日本少年サッカー鳥取県大会中部予選出場	
		全体	天神川水辺の裏校築基作業	
		スタッフ・中三	上北東公民館「もっぴっさサッカー教室」	合計4回
	6	JY	クラブユース選手権鳥取県大会出場	予選リーグ敗退
		ジュニア	マゴドナルドU-10ちびっこ大会出場	
	7	ジュニア	中部ジュニアサッカー連合会U11新人リーグ(1stステージ)出場	
		ジュニア	総社市市長杯(三波湖サッカー大会)U-12出場	
		JY	総社市市長杯(三波湖サッカー大会)U-15出場	予選リーグ2位、2位トーナメント準優勝
	8	JY	とっとりリーグ出場	リーグ優勝
		ジュニア	倉吉打次ライオンズクラブリーグ 少年サッカー大会出場	
		JY	全日本ユースフットサルU-15中部大会出場	山口県南予市
		JY	高円宮杯ジュニアユース選手権中部予選出場	優勝(県大会出場)
	9	ジュニア	鳥取県U-10大会中部予選出場	
		JY	高円宮杯ジュニアユース選手権鳥取県大会出場	予選リーグ敗退
		ジュニア	中部フットサルリーグ(1stステージ)参加	8月～10月
		ジュニア	中部フットサルリーグ(2ndステージ)参加	
	10	ジュニア	全山陽少年サッカー鳥取県大会中部地区予選出場	
		F&G	倉吉市民フットサル大会出場	
	11	ジュニア	全日本少年フットサル大会「バーモントカップ」中部予選出場	予選リーグ1位(県大会出場)
	12	ジュニア	全日本少年フットサル大会「バーモントカップ」県大会	予選リーグ敗退
		全体	「荒山徹一選手 応援弾丸ツアー」敗行	約60名参加
	1	ジュニア	中部ジュニアフットサル大会出場	U4年生3位、5年生優勝
		JY	鳥取県総合フットサル大会U-15クラス	Aチーム優勝、Bチーム3位
		F&S(女性)	フェミニティーリーグ出場	1月～10月
	2	JY	ユースフットサル選手権中部予選出場	参加予定
		ジュニア	鳥取県少年サッカーU-11大会中部地区大会出場	ディビジョンIに出場予定
		ジュニア	鳥取県フットサルリーグ参加出場予定	高校生・社会人のフットサルチーム
		F&S(女性)	エンジョイリーグ出場予定	
	3	JY	JFAプレミアカップ中部予選出場予定	
		ジュニア	倉吉打次ライオンズクラブリーグ少年サッカー大会出場予定	
	通年	ジュニア	鳥取県4種リーグ	中部地区
		指導部	鳥取短大付属幼稚園「サッカー遊び」講師(毎週1回)	
		JY	鳥取県3種リーグ	中部地区

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	映画事業部
2. 活動成果	①シンポジウム「倉吉と三朝で映画をつくりたいけどどがな」の開催 ②映画化に向けての制作会社への働きかけ
3. 課題	①映画化推進に向けての取り組み方、制作会社等へのアプローチ。
4. 事業（活動）の内容	①シンポジウム「倉吉と三朝で映画をつくりたいけどどがな」の開催 日時：平成21年3月28日（土） 場所：新日本海新聞社中部本社 映画制作会社の方他4名によるパネルディスカッションを開催し、多くの市民にご参加を頂いた。 ②映画化に向けての制作会社への働きかけ 今年度も制作会社への働きかけを行ってきたが、先方の方針等で映画化に向けての動きは二転三転している。 現在のスケジュールとして2011年春～夏にかけて撮影を開始したい意向はあるが、詳細スケジュールは未定である。

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	市民活動団体支援センター設置運営事業(CAPSくらよし)
2. 活動成果	センターの設置 団体登録の呼び掛け 講座・情報交換会の開催 利用機器の貸し出し
3. 課題	団体登録数が少ない。 活動団体・利用者へのアプローチ
4. 事業（活動）の内容	1 市民活動団体の支援 ①団体の把握及び登録促進 （市内約80団体に案内 現在13） ②団体への助成金情報の収集および提供 ③相談への助言及び情報提供 ④各種講座の開催（年3回） 10月7日 第1回講座「NPO法人立上講座」 12月17日 第2回講座「NPO法人会計講座」 2月19日 第3回講座「助成金アドバイス講座」 ⑤情報交換会の開催（年2回） 10月7日 第1回 情報交換会 2月19日 第2回 情報交換会 2 センターの管理運営 ①印刷機等事務機器の利用促進 ②ホームページの作成・管理 ③情報誌の発行（年2回）

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	中部地域資源情報収集・活用・発信（12万活性化チーム）
2. 活動成果	・うさぎの耳「チューベスト」連載10月～3月（6回） ・大阪日日新聞への広告掲載11・12月（3回） ・広域連合広報誌発行（8・11・2月号） ・NPO未来ホームページ制作 ・未来ウオークホームページ等制作 ・県内情報誌「クムクム」受注制作 ・梨の花温泉郷ホームページ(top)受注制作
3. 課題	事業ボリューム増大による、マンパワー不足。
4. 事業（活動）の内容	第6次産業の振興やサブカルチャー等のシーズについて、地元住民が気付かない地域の宝を発掘・加工し、成果として、交流人口増加の動機付けとなる市・町ごとの新たなタウンマップの作成や、地域情報としてのみならず将来的には通信販売のツールにも発展できるWEB上での地域資源の紹介など全国に情報発信する事業に取り組む。 1 インターネットを使った情報発信 ・NPO未来ホームページ制作 ・第9回日本海未来ウオークホームページ制作 ・県内3つのメーリングリストでの情報発信 ・ブログ「NPO未来のキセキ」での情報発信 2 メディアを使った情報発信 ・日本海新聞への取材依頼や企画持ち込み ・うさぎの耳「チューベスト」への完全入稿 ・BSSラジオへの出演 ・NCNケーブルテレビへの出演 3 新規情報媒体作成 ・中部のケーキ特集冊子制作 ・県民向け情報誌「クムクム」の受注制作 4 各種地域イベントの成功支援

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	子育て応援隊（企業・店舗）育成事業
2. 活動成果	①「とっとり子育て応援パスポート事業」協賛店舗の新規開拓50店舗達成。 ②既登録店舗のサービス内容の点検50店舗。 ③既登録店舗のサービス拡充8店舗 ④「ときめき巡り逢いコーディネート事業」の鳥取めぐりあいサポーターの新規開拓の呼びかけ5店舗。 ⑤父親の育児参加講座開催1回。 - 中部の中小企業への講座呼びかけ3企業
3. 課題	・企業、店舗の「子育てパスポート事業」の認知不足。 ・「ときめき巡り逢いコーディネート事業」のサポーターの新規開拓。
4. 事業（活動）の内容	①「とっとり子育て応援パスポート事業」の新規協賛店舗加入は、50店舗であった。そのうち、関西（大阪・兵庫）の方が来られてパスポートを利用できる店舗は、25店舗。 ②既登録店舗は、サービス内容の変更の有無を再確認した。サービス内容について、提案し交渉すると拡充してくださった8店舗。（例えば、温泉日帰り入浴100円引き・大人半額・子ども半額等） ③「ときめき巡り逢いコーディネート事業」イベント情報発信カードは、カラオケBOX・書店・居酒屋・スーパーマーケット・レストラン等の人の出入りが多い店舗に常置して頂いた。また、JA鳥取中央・カフェマザー・ラバラ・ノーサイド・トラバドルにイベントのお願いをした。金額的、人数確保なども加えし検討して頂いた。中部では既に5～7店舗、県に登録がある。 ④父親育児講座開催 ・日時：平成21年10月10日（土）13:30～15:00 ・場所：パープルタウン2F文化教室 講演「みんなで子どもを育もう」まつだ小児科医院 院長 松田隆先生 講演「子育ての中の絵本」絵本の会「鳥」の会 代表 松田和代さん ・50名の参加者が、熱心に講演を聞きこれから父親になる、又は、今父親である男性の育児講座になった。 また、パープルタウンが、子どもの遊び場の確保、綿菓子やポップコーン無料券の提供をして下さった。 ・講座の依頼（PRのみ）訪問 JA鳥取中央、明治製作所、オムロン

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	子育て王国
2. 活動成果	2009年9月より、新しい鳥取県のホームページ「子育て王国鳥取県」を制作し、2010年1月18日に正式公開した。
3. 課題	事業がより円滑に進むよう、鳥取県庁との綿密な打ち合わせ、情報共有が必要。
4. 事業（活動）の内容	1 鳥取県子育ての公式ホームページ制作・管理更新 コンテンツ企画からコーディングまでを一括受託。コンセプトは「とっても便利ですぐ利用できる、お役立ちサイト」。実際の利用者の立場・視点から、どんなWebサービスが必要とされているか考え、構築した。 2 鳥取県子育ての公式ガイドブック制作 県内の子育て家庭およそ60,000戸に全戸配布される公式ガイドブックの企画・制作。

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	地域マネージャー（家守）
2. 活動成果	①市役所五課との情報交換会スタート（総合政策室、文化財課、景観まちづくり課、商工観光課、市民参画課） ②空き店舗の活用による飲食店開業（3月末予定） ③地域活性化を目的としたイベントの開催（09年12月クリスマス・イベント、10年1月2月フリーマーケット） ④たからやビル壁面への広告映像の投射方法確立（仮称：未来VISION）
3. 課題	①空き店舗利活用の際に当該事業費以外の改修資金の確立 ②市役所五課および地域活性化団体との協議会の確立 ③空き店舗利用希望者の公募体制（WEBなど）の確立 ④未来VISIONの広告主募集による収益事業の確立 ⑤NPO養生の郷との連携事業開発&促進
4. 活動内容	成果①倉吉中心市街地活性化を計ってきた市役所五課の相互連携と情報共有を促進するために、つまりは当該事業の円滑な進行のために五課＋倉吉商工会議所との合同会議を持つことを試みた。結果、空き店舗の事情等の情報が公開・共有され始めている。が、街全体を俯瞰した視点を共有するまでに至っておらず、急務的課題となっている。 ②新町一丁目野崎邸の賃借交渉が成立して、観光客を主対象とした“食べ歩き”商品を扱う店舗の開業へと進行している。今回は地域マネージャーの事業費内予算で改修を行う。しかし、この方法は限界があり、1000万円程度の“町家改修バンク”の確立が急務と考えている。 ③倉吉中心市街地の東端に位置する「たからや」をまち再生のスタート地点と見做して波動を起こすべくクリスマスのイベントを開催した。光の当て方（視点の切り替え）によって無用の空間（空き店舗）が違って見えることの実験であり一定程度の効果を果たしたと考えているが、今後確実な成果を得られるまで継続したいと考えている。第二弾として1月開催したフリーマーケットは“場所の提供＝有効利用”においては成果を得たと思う。二月末に二回目を開催する予定。 ④「たからや」ビル東側壁にプロジェクターによる事業告知の映像投射を行った（12月初旬～下旬）。産業道路を西に走行する車両に対して効果を上げていたと思う。映写方法の洗練によっては、企業広告など収益事業を起こせる可能性があると考えている。

2009年事業（活動）報告書

1. 事業部名	県民向け情報誌発行（『クムクム』）
2. 活動成果	・ 契約通り、2009年中に2号発行することができた。 ・ 取材するなかで、取材スキル向上、人脈づくりなどのスキルアップができた。 ・ デザイン制作のスキルアップができた。
3. 課題	・ 適正な配布先・部数かどうかの追跡調査の実施 ・ 適切な進捗管理
4. 事業（活動）の内容	県民のNPO・ボランティア活動参加率を高めるために、情報誌を企画編集発行する事業。 （※鳥取県企画部協働連携推進課からの委託を受けて行う事業） ・ 県内で活動する方々へのインタビュー、写真撮影 ・ 県内で行われるイベントの取材 ・ 原稿制作 ・ デザイン制作 ・ Webページ（ブログ）での発信

第 6 期

収 支 計 算 報 告 書

自：平成21年 1月 1日

至：平成21年12月31日

(非営利活動事業)

特定非営利活動法人 未来

理事長 岸田 寛昭

特定非営利活動法人にかかる収支計算書

収支計算書

平成 21年 1月 1日 から平成 21年 12月 31日 まで

NPO法人 未来

(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 入会金収入		
入会金収入	80,000	80,000
2 会費収入		
正会員会費収入	592,000	
団体会員会費収入	120,000	
賛助会員会費収入	10,000	722,000
3 事業収入		
事業収入	40,268,418	40,268,418
4 寄付金収入		
寄付金収入	37,853	37,853
5 雑収入		
受取利息	3,266	
雑収入	555,206	558,472
経常収入合計		41,666,743
II 経常支出の部		
1 事業費		
事業費	35,457,107	35,457,107
2 管理費		
給料手当	965,150	
賞与	150,000	
会議費	5,750	
交際費	269,411	
旅費交通費	51,090	
通信運搬費	570,098	
消耗什器備品費	275,795	
消耗品費	140,352	
修繕費	63,480	
燃料費	23,499	
賃借料	64,260	
保険料	89,820	
諸謝金	242,000	
租税公課	649,300	
寄付金支出	13,000	
諸会費	4,600	
雑費	512,636	
法人税、住民税及び事業税	347,847	4,438,088
経常支出合計		39,895,195
経常収支差額		1,771,548
III その他資金収入の部		
その他資金収入合計		0
IV その他資金支出の部		
1 固定資産取得支出		
その他固定資産取得支出	1,206,570	1,206,570
2 その他の支出		
長期未払金支払支出	119,745	119,745
その他資金支出合計		1,326,315
当期収支差額		445,233

特定非営利活動法人に於ける収支計算

収支計算書

平成 21年 1月 1日 から平成 21年 12月 31日 まで

NPO法人 未来

科 目	金 額		
前期繰越収支差額			-1,567,994
前期繰越収支差額調整額			0
次期繰越収支差額			-1,122,761
(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額	445,233		
期末たな卸高	939,396		
固定資産増加額	1,206,570	2,591,199	
2 負債減少額			
	119,745	119,745	
増加額合計			2,710,944
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額			
期首たな卸高	1,171,896		
什器備品等減価償却額	443,344		
リース資産減価償却額	1,012,893	2,628,133	
減少額合計			2,628,133
当期正味財産増加額			82,811
前期繰越正味財産額			-263,692
期末正味財産合計額			-180,881

特定非営利活動法人 にかほり貸借対照表

貸借対照表

平成 21年 12月 31日 現在

NPO法人 未来

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	39,505		
普通預金	14,200,623		
未収会費	48,000		
未収金	753,280		
商品	888,156		
貯蔵品	51,240		
流動資産合計		15,980,804	
2 固定資産			
什器備品	32,012		
一括償却資産	804,380		
リース資産	3,736,407		
電話加入権	59,240		
固定資産合計		4,632,039	
資産合計			20,612,843

特定非営利活動法人にかける貸借対照表

貸借対照表

平成 21年 12月 31日 現在

NPO法人 未来

科 目	金 額	
Ⅱ 負債の部		
1 流動負債		
未払金	5,041,417	
前受金	8,993,375	
預り金	148,688	
仮受金	1,980,689	
流動負債合計		16,164,169
2 固定負債		
長期未払金	4,629,555	
固定負債合計		4,629,555
負債合計		20,793,724
Ⅲ 正味財産の部		
前期繰越正味財産		-263,692
当期正味財産増加額		82,811
正味財産合計		-180,881
負債及び正味財産合計		20,612,843

財産目録

平成21年12月31日現在

特定非営利活動法人に於ける財産目録

NPO法人 未来

(単位:円)

(非営利活動事業)

科 目 ・ 摘 要	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	(39,505)	
普通預金	(14,200,623)	
山陰合同銀行 (3606265) 本部	1,485,515	
山陰合同銀行 (3640012) たからや	11,293,721	
山陰合同銀行 (3643386) 心プロ 決済	334,525	
山陰合同銀行 (3645231) 心プロ	296,178	
鳥取銀行 (0050640) 外部評価	224,287	
鳥取銀行 (0050593) 情報の公表	566,397	
未収会費	(48,000)	
入会金	10,000	
正会員年会費	33,000	
協賛会員年会費	5,000	
未収金	(753,280)	
たからや利用料・共益費	515,130	
地域マネージャー事業損害保険料差額・損保ジャパン	15,860	
外部・第三者評価・調査料	217,400	
本部・メール便利用料	4,890	
商品	(888,156)	
未来ウォークCD	513,756	
未来ウォークTシャツ	374,400	
貯蔵品	(51,240)	
未来ウォーク飲料用容器	51,240	
流動資産合計		15,980,804
2 固定資産		
什器備品	(32,012)	
ノートパソコン (心プロ)	32,012	
一括償却資産	(804,380)	
富士通FMV (情報の公表)	79,000	
富士通FMVノート (市民活動)	121,100	
富士通FMVデスクトップ (市民活動)	121,100	
綿菓子作成機 (未来ウォーク)	70,000	
ポップコーン作成機 (未来ウォーク)	91,180	
エプソンプロジェクター (市民活動)	131,600	
エプソン100型スクリーン (市民活動)	77,000	
富士通FMVノート (市民活動)	113,400	
リース資産	(3,736,407)	
リコーイマジオMP (市民活動)	745,605	
理想科学リソグラフ (市民活動)	456,435	
エプソンスキナー (中部12万)	229,512	
DELLパソコン (子育て王国)	402,570	
DELLパソコン (子育て応援隊)	334,530	
スバルサンバーバン (中部12万)	1,048,950	
スバルプレオバン (子育て応援隊)	518,805	
電話加入権	(59,240)	
0858-22-9791	34,440	
0858-22-8999	24,800	
固定資産合計		4,632,039
資産合計		20,612,843

科 目 ・ 摘 要	金 額
II 負債の部	
—1 流動負債	
未払金	(5,041,417)
電話料	17,060
送料・ヤマト運輸、佐川急便	4,112
確定消費税	622,800
21年12月分本部人件費	42,200
事務手数料21年分・山田税理士事務所	126,000
事務用品・カウネット	9,273
未来ウォークチラシ作成・山本印刷	123,900
たからや施錠代行、警備料・山陰警備保障	42,000
協賛金・打吹地区振興会	48,000
協賛金・飛天WASSO	102,000
たからや施錠代行料・山根 大和	13,000
たからや開錠代行料・衣笠 義雄	19,600
モップ代他・リースキン	2,394
トイレ清掃委託料・シルバー人材センター	5,292
掃除機購入・生田電気	63,000
上下水道料・倉吉市	13,000
電気料・中国電力	532,272
21年12月分情報開示・外部評価謝金、交通費	174,500
21年12月外部評価人件費	122,230
心プロ事業コピー用紙・カウネット	2,780
地域マネージャー人件費	270,000
光速未来イベントチラシ作成・山本印刷	26,250
PC備品購入費・衣笠商会	1,470
光速未来イベント用備品等レンタル・流通	89,250
NPOライフ事業情報誌作成・山本印刷	218,400
市民活動事業人件費	287,200
市民活動事業事務用品費・カウネット	3,030
市民活動事業パフォーマンスチャージ料・衣笠商会	64,504
市民活動事業PC備品購入費・衣笠商会	1,470
市民活動事業プロジェクト他購入費・スイコー商会	500,000
中部12万事業人件費	600,000
中部12万事業事務用品費・衣笠商会	103,110
中部12万事業広告費・新日本海新聞社	105,000
子育て応援隊事業人件費	152,000
子育て応援隊事業PC備品購入費・衣笠商会	1,470
子育て王国事業人件費	167,000
社会保険料	365,850
前受金	(8,993,375)
22年分 年会費	3,000
22年分たからや利用料前受	1,035,183
22年以降市民活動事業委託費・倉吉市市民参画課	2,168,574
22年以降中部12万事業活動委託費・中部ふるさと広域連合	2,461,298
22年以降子育て応援隊事業委託費・鳥取県子育て室	431,894
22年以降子育て王国事業委託費・鳥取県子育て室	421,270
22年以降地域マネージャー事業委託費・鳥取県協働課	1,884,857
22年以降NPOライフ事業委託費・鳥取県協働課	587,299
預り金	(148,688)
給与源泉預り	139,688
従業員駐車場利用料預り	9,000
仮受金	(1,980,689)
理事一時借入金	900,000
韓国国際ウォーク会計残	1,080,689
流動負債合計	16,164,169

科 目 ・ 摘 要	金	額
Ⅱ 負債の部		
2 固定負債		
長期未払金	(4,629,555)	
車両リース未経過リース料・クリエイティブオート	1,048,950	
車両リース未経過リース料・山陰総合リース	2,075,220	
プリンタ他リース未経過リース料・山陰総合リース	518,805	
パソコン他リース未経過リース料・山陰総合リース	986,580	
固定負債合計		4,629,555
負債合計		20,793,724
Ⅲ 正味財産の部		
前期繰越正味財産		-263,692
当期正味財産増加額		82,811
正味財産合計		-180,881

第 6 期

収 支 計 算 報 告 書

自：平成21年 1月 1日

至：平成21年12月31日

(その他の事業)

特定非営利活動法人 未来

理事長 岸田 寛昭

貸借対照表

平成 21年 12月 31日 現在

NPO法人 未来
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部 資産合計			0

貸借対照表

平成 21年 12月 31日 現在

NPO法人 未来

科 目	金	額
Ⅱ 負債の部 負債合計		0
Ⅲ 正味財産の部 正味財産合計 負債及び正味財産合計		0 0 0

財産目録

平成21年12月31日現在

(その他の事業)

NPO法人 未来
(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	(0)		
普通預金	(0)		
未収会費	(0)		
未収金	(0)		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	(0)		
預り金	(0)		
流動負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増加額		0	
正味財産合計			0

収支計算書

平成 21年 1月 1日 から平成 21年 12月 31日 まで

NPO法人 未来
(単位:円)

科 目	金 額
(資金収支の部)	
I 経常収入の部	
経常収入合計	0
II 経常支出の部	
経常支出合計	0
経常収支差額	0
III その他資金収入の部	
その他資金収入合計	0
IV その他資金支出の部	
その他資金支出合計	
当期収支差額	0
前期繰越収支差額	0
前期繰越収支差額調整額	0
次期繰越収支差額	0
(正味財産増減の部)	
V 正味財産増加の部	
増加額合計	0
VI 正味財産減少の部	
減少額合計	
当期正味財産増加額	0
前期繰越正味財産額	0
期末正味財産合計額	0

収支計算書（事業収支）

平成 21年 1月 1日 から平成 21年 12月 31日 まで

NPO法人 未来

科 目	金	額
1 事業収入 事業収入合計		0
2 事業費 事業費合計 当期事業収支差額		0
		0

収益事業収支計算書

平成 21年 1月 1日 から平成 21年 12月 31日 まで

NPO法人 未来
(単位：円)

科 目	金 額
(事業活動損益の部)	
I 事業活動収入	
事業活動収入合計	0
II 事業活動費用	
事業活動費用合計	0
事業活動利益 (損失)	0
(事業活動外損益の部)	
III 事業活動外収入	
事業活動外収入合計	0
IV 事業活動外費用	
事業活動外費用合計	0
事業活動外利益 (損失)	0
経常利益 (損失)	0
(特別損益の部)	
V 特別利益	
特別利益合計	0
VI 特別損失	
特別損失合計	0
税引前当期正味財産増加額	0
当期正味財産増加額	0
前期繰越正味財産額	0
期末正味財産合計額	0

前事業年度の役員名簿

特定非営利活動法人 未来

役名	氏名	住所又は居住	就任期間	報酬を受けた期間
理事	岸田寛昭	倉吉市上井783番地24	21年1月1日～21年12月31日	無
理事	遠藤公章	東伯郡湯梨浜町大字園2226番地2	21年1月1日～21年12月31日	無
理事	松田 隆	倉吉市新町3丁目1178番地	21年1月1日～21年12月31日	無
理事	山崎信吾	倉吉市上井779番地11	21年3月1日～21年12月31日	無
理事	谷口宗弘	倉吉市上井町1丁目123番地	21年1月1日～21年2月28日	無
理事	石亀 靖	倉吉市服部695番地	21年1月1日～21年12月31日	無
理事	讃岐英夫	倉吉市清谷町1丁目86番地2	21年1月1日～21年12月31日	無
理事	山田悌次	東伯郡湯梨浜町大字園728番地3	21年1月1日～21年12月31日	無
理事	池原清美	米子市両三柳211番地	21年1月1日～21年12月31日	無
理事	谷本弘樹	倉吉市金森町26番地	21年1月1日～21年12月31日	無
理事	水野聖子	東伯郡三朝町大字穴鴨458番地	21年1月1日～21年12月31日	無
理事	八代慎一	倉吉市海田南町249番地4	21年1月1日～21年12月31日	無
理事	松本亮二	鳥取市吉成166番地4	21年1月1日～21年2月28日	無
監事	廣田和幸	倉吉市昭和町2丁目57番地	21年1月1日～21年12月31日	無
監事	向井 潤	倉吉市上灘町18番地	21年1月1日～21年12月31日	無